

株式会社ヒラサ製作所

自動車部品などの高精度な 試作部品を一貫対応で製作

- 納期相談
- コスト相談
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット



試作などを一貫対応する本社工場

主な事業内容

機械加工業、自動車部品、航空機部品、船舶部品などの試作部品製造

主な取引先(納入先)

自動車メーカー、航空機部品メーカー、船舶メーカー

主な製品

自動車試作部品、航空機部品、船舶部品

業務内容 自動車専門の 試作部品で創業

ヒラサ製作所は昭和40年に、当時では珍しい、自動車専門の試作部品の製作で創業。近年は、自動車業界で培ってきた技術やノウハウを生かし、航空機や船舶の試作部品の製作も手がける。協力会社などとの連携により、材料の入手から完成品の納品までワンストップで対応できるのが特徴で、旋盤やマシニングセンターによる切削加工のほか、ワイヤ放電や加工後の熱処理、表面処理も行える。また、多様な素材を取り扱うことができ、金属や非鉄金属はもちろん、アクリル樹脂やPOM樹脂、ナイロン樹脂など樹脂加工にも対応。このような幅広い対応力に定評がある。

強み 協力会社との連携による 一貫生産体制が魅力

最大の強みは、協力会社との連携による一貫生産体制にある。このような生産体制により納期の明確化と中間コストの低減につなげている。また、VA/VE提案も可能で、コストダウンや用途に応じた図面変更などにも対応する。「コストに見合わない、納期が

検体 高精度な 測定機器を導入

顧客企業による高度な要求品質に対応するため、新たな検査機器の導入や更新にも積極的に取り組んでいる。同社では、各工程間で複数の検査機器を用いて検査を行い、不良品の発生防止に努めている。三次元測定機をはじめ他社では測定できない場合が多いという面粗度測定機や形状測定機を導入。また、三次元測定機は最新機種を導入を検討しているという。同社の顧客は自動車メーカーや航空機部品メーカーなど高精度・高品質が求められる企業が多く、これらの期待に応えるかたちで検査体制の強化を進めている。

社長あいさつ



代表取締役社長
平佐 明仁さん

当社は、主に自動車部品の試作を手がけてきました。立型・模型のマシニングセンターや複合旋盤、三次元測定機に加え、立型CNC旋盤を導入し、お客様のニーズに応えつつ試作品の製作に幅広く対応しています。今後も“お客様とともに伸びる企業”をモットーに前進していきます。

主な保有設備

- 立型マシニングセンター VM-53R IIほか ニデックオーケー製 2台
- 模型マシニングセンター NH5000/40ほか DMG森精機製ほか 2台
- 複合旋盤 NLX 2500|700ほか DMG森精機製ほか 2台
- 立型CNC旋盤 MEGA TURN 600M ヤマザキマザック製 1台
- ワイヤ放電加工機 FA20S 三菱電機製 1台

大阪 05

住 所 / 〒575-0051
四條畷市
中野本町9-17
TEL / 072-876-5815
FAX / 072-879-5129
創 業 / 昭和48年4月
設 立 / 昭和48年4月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 12名



同社の品質を支える三次元測定機



立型CNC旋盤など最新設備を保有



<http://www.hirasa.jp/>